

關義 （註） フランス文學譯家。明治二十九年十一月五日東京生れ（一九〇一）。筆名大谷義（大島辰雄・谷長茂合同名）、小台齊。アテネ・フレンゼ卒。

譯書、鄭驚作『安南の結婚』（昭和十七年一月）二十頁興亞日本社）、
ブールデル著『ロダン』（昭和十八年十一月十日構成社）、マルセル・エドリツク作『子供たちは見ている』（昭和二十八年六月）二十頁ダヴィッド社）、ルイ・アラゴン作『お屋敷町』全二冊（上巻・昭和二十九年六月十日、下巻・二十日新潮社『現代フランス文學叢書』）、ジャン・テナイツト作『黄水仙さつみじ歸らう』（昭和二十九年九月十五日青木書店『青木文庫』）、ルイ・アラゴン著『スタンダールの光』（小林正共訳、昭和二十一年一月）百頁青木書店）、同作『現實世界』全五冊（昭和二十一年一月）二十九日四月十五日新潮社）、エミール・ゾラ作『居酒屋』全二冊（安東次男共訳、同上・昭和二十一年十月一日、下・十五日青木書店）、アラゴン作『バールの鐘』全二冊（上・昭和二十一年七月二十日、下・八月二十日新潮社）、シャルル・ブルニエ作『醜女の日記』（昭和二十二年一月）二十日新潮社『新潮文庫』）等。小説『展覧会の絵』（昭和四十六年九月十五日前衛社、神無書房発売）がある。

